

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 21

令和7年12月19日

隠岐支庁農林水産局農業振興部

標 題	生産者を集めた、地元量販店への出荷説明会・情報交換会を開催
-----	-------------------------------

(ダイジェスト)

10/20と11/12に、地元産野菜の販売額向上に向けて、隠岐の島町にある二つの量販店への出荷に興味のある生産者を対象とした、出荷説明会・情報交換会を開催しました。

当日は、量販店から新たな量目や販売形態の提案があり、生産者からは地元産野菜を販売、PRするうえでの工夫についてなど、活発な情報交換が行われました。

また、閉会の際には量販店担当者から生産者のほ場を見学したいとの意見もあり、今回出来たつながりを継続し、量販店出荷につながるよう支援していきます。

隠岐の島町で流通する青果物は、ほとんどが島外から供給されていますが、町内産に対する地元からのニーズは非常に高く、地元産青果物の生産拡大が大きな課題となっています。量販店も島内の大きなマーケットの一つですが、地元産の仕入れ割合が3～5%と非常に低い状況であり、既存出荷者の出荷拡大に加えて、新たな出荷者の確保も必要な状況です。

課題解決に向け、量販店出荷に興味のある生産者を対象に、これまで実施できていなかった隠岐の島町内にある二つの量販店と生産者を交えた出荷説明会・情報交換会をそれぞれ10/20（7名参加）と11/12（12名参加）に実施しました。

量販店からは地元産販売状況やニーズ、出荷方法などを内容とした出荷説明が行われ、出荷に向けた新たな量目や包装方法についての提案、規格外品の取り扱いに関する情報提供等があり、生産者にとっても有益な情報が得られました。

説明会の後は、それぞれの生産者から栽培品目の紹介や出荷意向について情報共有が行われました。そのことに加えて、珍しい品種については食べ方の紹介があり、消費者が手に取りやすい売り場づくりの工夫についての意見も生産者から出るなど、活発な情報交換会となりました。

最後には、量販店担当者から生産者のほ場にも足を運んで、栽培に対する思いやこだわりを販売面でPRしていきたいといった意見もあったことから、後日担当者と生産者ほ場の巡回を実施し、より両者のつながりが深まったと感じました。

今後も引き続き、地産地消の拡大に向けて地域一体となって取組みを進めていきます。



左：10/20 開催の情報交換の様子
右：11/12 開催の情報交換の様子